



機能、テンプレート、サービス、 およびユーザの設定

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワーク設定値を設定し、電話機を Cisco Unified CallManager に追加したら、Cisco Unified CallManager Administration アプリケーションを使用して、テレフォニー機能の設定、電話テンプレートの変更（オプション）、サービスの設定、およびユーザの割り当てを行う必要があります。

この章では、これらの設定手順の概要について説明します。手順の詳細については、Cisco Unified CallManager のマニュアルを参照してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する情報については、[付録 A 「Web サイトを使用したユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

英語以外の環境で電話機を設定する方法については、[付録 B 「各言語ユーザのサポート」](#) を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [電話機で使用できるテレフォニー機能 \(P.5-2\)](#)
- [社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定 \(P.5-16\)](#)
- [電話ボタンテンプレートの変更 \(P.5-18\)](#)
- [ソフトキーテンプレートの設定 \(P.5-19\)](#)
- [サービスの設定 \(P.5-20\)](#)
- [Cisco Unified CallManager へのユーザの追加 \(P.5-21\)](#)
- [ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定 \(P.5-22\)](#)

電話機で使用できるテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified CallManager に追加したら、電話機に機能を追加できます。表 5-1 は、サポート対象のテレフォニー機能のリストを示しています。これらの機能の多くは、Cisco Unified CallManager Administration を使用して設定できます。「設定の参照先」の欄は、設定手順や関連情報が記載されている Cisco Unified CallManager のマニュアルを示しています。

電話機でテレフォニー機能を使用する方法については、『Cisco Unified IP Phone 7970 Series Guide』を参照してください。電話機の機能の総合的なリストについては、『Cisco Unified IP Phone Features A-Z』を参照してください。



(注)

Cisco Unified CallManager Administration には、各種テレフォニー機能の設定に使用できるサービス パラメータも用意されています。サービス パラメータの詳細、およびそのパラメータによって制御される機能の詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定の参照先
固定短縮ダイヤル機能	ユーザが、割り当て済みのインデックス コード(1～99)を電話機のキーパッドで入力して、短縮ダイヤルを使用できます。 インデックス コードの割り当ては、ユーザがユーザ オプション Web ページで行います。	詳細の参照先 <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
自動応答	呼出音が 1 回または 2 回鳴ると、自動的に着信コールを接続します。 自動応答は、スピーカフォンまたはヘッドセットと連動します。	詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）


機能	説明	設定の参照先
自動ピックアップ	ユーザが、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他グループ コール ピックアップに対して、ワンタッチ ピックアップ機能を使用できます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール ピックアップ グループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップ」の章
割り込み	<p>ユーザが、共有電話回線でプライベート以外のコールに参加できません。割り込み機能には、C 割り込みと割り込みがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> C 割り込みは、ユーザをコールに追加し、コールを会議に変換します。そのため、ユーザおよびその他の通話相手が会議機能にアクセスできるようになります。 割り込みは、ユーザをコールに追加しますが、コールを会議に変換することはありません。 <p>電話機は、割り込みを次の2つの会議モードでサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット デバイス（割り込まれる電話機）での組み込み会議ブリッジ。このモードでは、[割り込み] ソフトキーが使用されません。 共有会議ブリッジ。このモードでは、[C 割込] ソフトキーが使用されます。 	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「割り込み、プライバシー、および Privacy on Hold」の章

電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
外線コールの外線転送のブロック	ユーザが外線コールを別の外線番号に転送することを禁止します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド</i> 』の「External Call Transfer Restrictions 機能」の章を参照してください。
コール表示制限	発信している回線または接続されている回線に対して表示する情報を、コールに関与している通話相手に応じて判別します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『<i>Cisco Unified CallManager システムガイド</i>』の「ルートプランの概要」の章 『<i>Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド</i>』の「Call Display Restrictions 機能」の章
コール転送	ユーザが、着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド</i>』の「電話番号の設定」 『<i>Cisco Unified CallManager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
コール パーク	<p>ユーザが、コールをパークし（一時的に保存し）、後で Cisco Unified CallManager システムの別の電話機を使用してコールを取得することができます。</p> <p> (注) 同じ電話機に [パーク] ソフトキーと ダイレクト コール パーク ボタンを設定することは避けてください。このように設定すると、ユーザが2つのコール パーク機能を混同する恐れがあります。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール パーク」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「コールパークおよびダイレクト コールパーク」の章
コール ピックアップ	<p>ユーザが、ユーザのピックアップグループにある別の電話機で鳴っているコールを、自分の電話機にリダイレクトできます。</p> <p>電話機のプライマリ回線に対して、音、表示、またはその両方によるアラートを設定できます。このアラートは、ユーザのピックアップグループでコールが鳴っていることをユーザに通知します。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール ピックアップグループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップ」の章
コール待機	<p>通話中に鳴る別の着信コールを示します（さらに、ユーザが応答できるようにします）。電話機のスクリーンに着信コールの情報が表示されます。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章

電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
発信者 ID	電話機のスクリーンに、電話番号、名前、またはその他の説明テキストなど、発信者 ID が表示されます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章
Cisco Call Back	話し中の相手または応答しない相手に対応可能になったときに、音と表示でユーザに通知します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Cisco Call Back」の章
Cisco Unified CallManager Assistant	マネージャとそのアシスタントがより効果的に協力して作業できるようにするため、コールルーティングサービス、マネージャ用の電話機の機能拡張、およびアシスタントが主に使用するデスクトップインターフェイスを備えています。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IPMA Configuration Wizard」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco IP Manager Assistant」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」および「共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
クライアントマターコード (CMC)	コールが特定のクライアント マターに関連するように指定できます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「クライアントマターコード (CMC)」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章
会議	ユーザが、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。会議機能には、会議、参加、C 割り込み、および Meet-Me があります。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
設定可能なコール転送の表示	システム管理者が、コールの転送時に電話機に表示される情報を指定できます。この情報には、発信者名、発信者番号、転送元番号、および最初のダイヤル番号を含めることができます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
直接転送	ユーザが、2 つのコールを相互に接続できます（ユーザの回線は切断されません）。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）


機能	説明	設定の参照先
ダイレクトコールパーク	<p>ユーザが、アクティブなコールを特定のダイレクトコールパーク番号に転送できます。ユーザは、[転送]を押したら、コールを保存するダイレクトコールパーク番号をダイヤルするか、短縮ダイヤルで呼び出します。</p> <p>ダイレクトコールパークボタンを使用すると、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルでアクセスし、そのダイレクトコールパーク番号が使用可能かどうかを表示することができます。</p> <p> (注) ダイレクトコールパークを実装する場合、[パーク]ソフトキーを設定することは避けてください。このように設定すると、ユーザが2つのコールパーク機能を混同する恐れがあります。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「コールパークおよびダイレクトコールパーク」の章を参照してください。</p>
エクステンションモビリティサービス	<p>ユーザが、電話機でエクステンションモビリティサービスにログインして、その電話機の電話番号およびユーザプロファイル設定を共有のCisco Unified IP Phone に一時的に適用できます。</p> <p>エクステンションモビリティは、ユーザが社内のさまざまな場所で作業する場合や、同僚と作業スペースを共有している場合に役立つことがあります。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco Unified CallManager エクステンションモビリティ」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified CallManager エクステンションモビリティ機能および電話機へのログイン機能」の章

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
Forced authorization code (FAC)	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Forced Authorization Code (FAC)」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章
グループのコールピックアップ	ユーザが、グループ ピック コードを使用して、他のグループ内の電話機で鳴っているコールに応答することができます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コールピックアップグループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コールピックアップ」の章
ハントグループ	メインの電話番号に対するコールのロード シェアリングを行います。ハントグループには、着信コールに応答できる一連の電話番号が含まれています。ハントグループ内の最初の電話番号が話し中である場合、システムはグループ内で、あらかじめ決められた順序で次に使用可能な電話番号を探し、コールをその電話機に転送します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ハントリストの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章
保留	ユーザが、接続されているコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。	<p>設定は不要です。ただし、保留音を使用する場合は設定が必要です。詳細については、この表の「保留音」を参照してください。</p>

■ 電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
即時転送	ユーザが、着信コールをボイス メッセージ システムに直接転送できます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「即時転送」の章
参加	ユーザが、1つの回線上にある複数のコールに参加して、会議コールを作成し、維持することができます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> P.5-19の「ソフトキーテンプレートの設定」を参照してください。 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
ハントグループからのログアウト	ユーザが、コールを受けることができない場合に、ハントグループからログアウトし、電話機でコールが鳴ることを一時的にブロックすることができます。ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは電話機で鳴ります。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> P.5-19の「ソフトキーテンプレートの設定」を参照してください。 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章を参照してください。
Malicious Call Identification (MCID)	ユーザが、受信した不審なコールについてシステム管理者に通知できます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Malicious Call Identification」の章
Meet-Me 会議	ユーザが Meet-Me 会議を開催できます。この会議では、他の参加者がスケジュールされた時刻にあらかじめ決められた電話番号を呼び出します。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Meet-Me Number/Pattern の設定」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
メッセージ受信インジケータ	1 つまたは複数の新しいボイスメッセージが着信していることを示すハンドセットのランプ。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」の章
Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)	電話システム内でコールに優先順位を付けることができます。この機能は、緊急または重要なコールを発信および受信する必要がある環境で作業する場合に使用します。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」の章を参照してください。</p>
保留音	発信者が保留になっている間、音楽を再生します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Music On Hold オーディオ ソースの設定」および「Music On Hold サーバの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「保留音」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Music On Hold」の章
オンフック コール転送	ユーザが、[転送] ソフトキーを 1 回押してオンフックにすることで、コール転送を完了できます。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>

電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
他グループ ピックアップ	<p>ユーザが、ユーザのグループに関連付けられた他のグループ内の電話機で鳴っているコールに応答できます。</p> <p>この表の「コール ピックアップ」および「グループのコール ピックアップ」も参照してください。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール ピックアップ グループの設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「コール ピックアップ」の章
プライバシー	<p>回線を共有するユーザが自身をコールに追加することや、他のユーザのコールに関する情報を電話機のスクリーンに表示することを防止します。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「割り込み、プライバシー、および Privacy on Hold」の章
Quality Reporting Tool (QRT)	<p>ユーザが、電話機の [品質] ソフトキーを使用して、問題のあるコールに関する情報を送信することができます。QRT は、QRT に必要なユーザインタラクションの量に応じて、2つのユーザ モードのどちらかに設定できます。</p>	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「Quality Report Tool」の章
リダイヤル	<p>ユーザが、前回ダイヤルした電話番号をワンタッチで呼び出すことができます。</p>	<p>設定は不要です。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
呼出音の設定	電話機に別のアクティブ コールが着信した場合に回線に使用する呼出音のタイプを指定します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「カスタム電話呼び出し音」の章 P.6-2 の「カスタム電話呼出音の作成」
サービス	システム管理者が、Cisco Unified CallManager Administration で Cisco Unified IP Phone Services Configuration メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および保守することができます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章
サービス URL ボタン	ユーザが、電話機の [サービス] メニューの代わりにプログラマブル ボタンを使用して、サービスにアクセスすることができます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章
共有回線	ユーザが、同じ電話番号を共有する複数の電話機を使用したり、同僚と電話番号を共有したりできます。	<p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>

■ 電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
短縮ダイヤル	以前保存された指定済みの電話番号をダイヤルします。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
Time-of-Day ルーティング	指定されたテレフォニー機能へのアクセスを、時間帯によって制限します。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「時間帯 (Time Period) の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」の章
転送	ユーザが、接続されているコールを自分の電話機から別の電話番号にリダイレクトできます。	設定は不要です。
ビデオモード	ユーザが、システムに設定されているモードに応じて、ビデオ会議を表示するためのビデオ表示モードを選択できます。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> P.5-19 の「ソフトキーテンプレートの設定」を参照してください。 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Conference Bridge の設定」の章 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
ビデオサポート	電話機でビデオサポートを有効にします。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Conference Bridge の設定」の章 • 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章 • 『Cisco Unified VT Advantage アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified VT Advantage の概要」の章
ボイスメッセージシステム	コールに応答がない場合に、発信者がメッセージを残せるようにします。	<p>詳細の参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco ボイスメールポートの設定」の章 • 『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」の章

社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズのディレクトリ ボタンを使用すると、ユーザは複数のディレクトリにアクセスできます。これらのディレクトリには、次のものがあります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが同僚の電話番号を検索できます。
この機能をサポートするには、システム管理者が企業ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、[P.5-16](#)の「[社内ディレクトリの設定](#)」を参照してください。
- パーソナルディレクトリ：ユーザが一組の個人用電話番号を保存できます。
この機能をサポートするには、システム管理者が、ユーザにパーソナルディレクトリの設定ソフトウェアを提供する必要があります。詳細については、[P.5-17](#)の「[パーソナルディレクトリの設定](#)」を参照してください。

社内ディレクトリの設定

Cisco Unified CallManager は、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用して、Cisco Unified CallManager とのインターフェイスとなる Cisco Unified CallManager アプリケーションの使用に関する認証および許可の情報を保存します。認証は、システムにアクセスするためのユーザ権限を確立します。許可は、ユーザに使用許可を与えるテレフォニー リソース（特定の内線番号など）を指定します。

これらの機能のインストールおよび設定方法については、『*Installing and Configuring the Cisco Customer Directory Configuration Plugin*』を参照してください。このマニュアルは、Cisco Unified CallManager を Microsoft Active Directory および Netscape Directory Server と統合する設定プロセスについて説明しています。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、ユーザが Cisco Unified IP Phone で社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリでユーザを検索できるようになります。

パーソナル ディレクトリの設定

パーソナル ディレクトリでは、Cisco Unified CallManager の Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリに保存されている個人アドレス帳を利用できます。また、次の機能を備えています。

- Cisco Unified IP Phone synchronizer: ユーザが Microsoft Outlook および Outlook Express のアドレス帳エントリを Cisco Unified CallManager のディレクトリと同期させることができます。
- Personal Address Book サービス: ユーザが電話機からエントリを検索して選択し、ソフトキーを押して選択した番号をダイヤルすることができます。

パーソナル ディレクトリを設定するには、ユーザは、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。また、Microsoft Outlook と同期させる場合、ユーザはシステム管理者から Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer ユーティリティを入手して、インストールする必要があります。

このソフトウェアを入手するには、Cisco Unified CallManager Administration で **Application > Install Plugins** を選択し、**Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer** をクリックします。

電話ボタン テンプレートの変更

電話ボタン テンプレートを使用すると、システム管理者が回線ボタンや短縮ダイヤル ボタンに機能を割り当てることができます。

テンプレートを変更するのは、電話機をネットワークに登録する前に行うのが最適です。この順序で実行すると、登録時に Cisco Unified CallManager から、カスタマイズされた電話ボタン テンプレート オプションにアクセスできるようになります。

電話ボタン テンプレートを変更するには、Cisco Unified CallManager Administration で **Device > Device Settings > Phone Button Template** を選択します。電話ボタン テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CallManager Administration の Phone Configuration ページにある Phone Button Template フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified CallManager システム ガイド』を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズのデフォルト テンプレートでは、ボタン 1 および 2 が回線に使用され、ボタン 3 ~ 8 が短縮ダイヤルとして割り当てられます。ボタンには、次の機能を割り当てることができます。

- サービス URL
- プライバシー
- コールパーク BLF
- 短縮ダイヤル

その他の電話機能、たとえば、コールパーク、コール転送、リダイヤル、保留、復帰、ボイス メッセージ システム、会議などにアクセスするには、ソフトキーを使用します。

ソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified CallManager Administration を使用すると、Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズでサポートされているアプリケーションに関連付けるソフトキーを管理できます。Cisco Unified CallManager では、標準と非標準の2種類のソフトキーテンプレートがサポートされます。標準ソフトキーテンプレートには、Standard User、Standard Feature、Standard Cisco Unified CallManager Assistant、Standard Cisco Unified CallManager Assistant Manager、および Standard Cisco Unified CallManager Assistant Shared Mode Manager などがあります。ソフトキーをサポートするアプリケーションには、1つまたは複数の標準ソフトキーテンプレートに関連付けることができます。標準ソフトキーテンプレートを変更するには、そのコピーを作成して新しい名前を割り当て、そのコピーしたソフトキーテンプレートを更新します。また、非標準のソフトキーテンプレートを変更することもできます。

ソフトキーテンプレートを設定するには、Cisco Unified CallManager Administration で **Device > Device Settings > Softkey Template** を選択します。ソフトキーテンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CallManager Administration の Phone Configuration ページにある Softkey Template フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified CallManager システムガイド』を参照してください。

サービスの設定

Cisco Unified IP Phone のサービス ボタンを使用すると、ユーザは Cisco Unified IP Phone サービスにアクセスできます。また、電話機のプログラマブル ボタンにサービスを割り当てることもできます（詳細については、『*Cisco Unified IP Phone 7970 Series Guide*』を参照してください）。これらのサービスは、XML アプリケーションで構成されているため、電話機でテキストとグラフィックスを使用して対話型コンテンツを表示することができます。サービスの例には、地元の映画館の上映時間、株価情報、天気予報などがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、事前に次の作業を行います。

- システム管理者は、Cisco Unified CallManager Administration を使用して、利用可能なサービスを設定する必要があります。
- ユーザは、Cisco Unified IP Phone ユーザ オプション アプリケーションを使用して、サービスに登録する必要があります。この Web ベースのアプリケーションには、エンドユーザが IP Phone アプリケーションを制限付きで設定できるグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) が用意されています。

サービスを設定する前に、設定するサイトの URL を収集し、ユーザが社内の IP テレフォニー ネットワークからそのサイトにアクセスできることを確認してください。

これらのサービスを設定するには、Cisco Unified CallManager Administration で **Feature > Cisco Unified IP Phone Services** を選択します。詳細については、『*Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド*』および『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』を参照してください。

これらのサービスを設定したら、ユーザが Cisco Unified CallManager IP Phone オプション Web ベース アプリケーションにアクセスできることを確認してください。このアプリケーションでは、ユーザが設定済みのサービスを選択し、登録することができます。システム管理者がエンドユーザに提供する必要のある情報の要約については、**P.A-5** の「**ユーザがサービスに登録する方法と電話機能を設定する方法**」を参照してください。

Cisco Unified CallManager へのユーザの追加

Cisco Unified CallManager にユーザを追加すると、システム管理者は、ユーザのディレクトリ情報やパスワードなど、ユーザに関する情報を表示および保守することができます。



(注)

LDAP ディレクトリ ユーザ用のパスワードルールを管理するには、Cisco Unified CallManager と統合されたディレクトリ サーバアプリケーションで、パスワードの有効期間と構文を設定します。サポートされるディレクトリ サーバの詳細とリストについては、『*Installing and Configuring the Cisco Customer Directory Configuration Plugin*』を参照してください。

Cisco Unified CallManager に追加されたユーザは、次の操作を実行できます。

- Cisco Unified IP Phone から、社内ディレクトリやその他のカスタマイズされたディレクトリにアクセスする。
- パーソナルディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤル番号とコール転送番号を設定する。
- Cisco Unified IP Phone からアクセス可能なサービスに登録する。

Cisco Unified CallManager にユーザを追加するには、次の方法のいずれかを使用します。

- ユーザを個別に追加するには、Cisco Unified CallManager Administration から **User >Add a New User** を選択します。

ユーザの追加方法の詳細については、『*Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『*Cisco Unified CallManager システムガイド*』を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、**Bulk Administration Tool** を使用します。この方法では、すべてのユーザに共通のデフォルト パスワードを設定することもできます。

詳細については、『*Cisco Unified CallManager Bulk Administration ガイド*』を参照してください。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定

ユーザ オプション Web ページでは、ユーザは電話機の機能と設定の一部をカスタマイズおよび制御できます(ユーザ オプション Web ページの詳細については、『Web での Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ』を参照してください)。

デフォルトでは、ユーザ オプション Web ページにはオプションがすべて表示されます。ただし、Cisco Unified CallManager Administration を使用して適切なエンタープライズパラメータを設定すると、オプションを削除できます。

設定は、サイトにあるすべてのユーザ オプション Web ページに反映されます。

特定のオプションをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CallManager Administration で、**System > Enterprise Parameters** を選択します。

Enterprise Parameters Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 CCMUser Parameters 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リストから次の値のどちらかを選択して、そのパラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

True: オプションはユーザ オプション Web ページに表示されます(デフォルト)。

False : オプションはユーザ オプション Web ページに表示されません。
